



祝祭日には



を掲げましょう

# いまこそ集落創生

第26回 羽場地区



- ㊦(上) 公園地の散策道設置作業
- ㊦(下) 各事業成功の陰の立役者の皆さん
- ㊦ 田屋の一本桜水面に映った桜も美しい

江戸時代には、十日町の枝郷で、数戸の集落に過ぎませんでした。明治になって金山川に橋（現在の金山大橋）が掛けられ整備されると、中田方面や真室川方面への交通の要衝として今日まで発展してきた羽場地区。

平成22年から、山形県緑推進機構の指導と助成を受けながら地域の里山である「羽場公園地」に、桜の植樹、散策道の設置を行い、以後も山の維持管理に努めてきました。地区民自らが汗をかくことにより環境づくりの啓発や地域コミュニティの醸成への関心が高まっています。

羽場地区では暮らしに根付いた数々のボランティアグループがあり様々な活動を繰り広げています。「地区内花いっぱい運動」「七夕まつり」「地区球技大会」「収穫感謝祭」などどれもみな主体的で積極的、躍進的であり、その力は地区をあげての年中行事でも発揮されています。「これからもこうした取り組みを継続していくことを基本に、各組織の活動には物心両面からの積極的な協力をを行い、地区主体の行事とともに、地区づくりの中心にしていきたい」と黒沼孝一区長は話します。また金山祭りでは、若連が制作した山車がここ10年間で8回最優秀賞に選ばれており、若い人たちの活躍も地区の活性化に繋がっています。

地区内には円称寺、戊辰戦争に係わる仙台藩士の墓碑、三本松の戦場など歴史に係わる遺産や田屋の清水、一本桜等の名所、街なかを一望できる羽場公園地があります。「きこころ橋で止まりがちな観光ルートを羽場地区まで伸ばし、訪れた人々との触れ合いを通しさらによい地区づくりを行っていききたい」と区長は話します。

## 編集後記

▼今年度より広報を担当させていただきます。皆様にご協力をお願いいたします。

▼新型コロナウイルスはとも身近に迫っています。例年とは違った春、少し物足りないですが、我慢の時です。正しい手洗いうがいで予防し、お出かけできる日を楽しみに頑張りましょう。

金山町の人口は、5,325人（3月末現在）

男性	2,599人 (-18)
女性	2,726人 (-35)
世帯数	1,752世帯

▼3月の異動

出生	2人
死亡	11人
転入	9人
転出	53人